

現象のモデリングとその理論的・数値的解析

－ 環境放射能研 (IER) モデリング部門の設立に寄せて －
第 12 回 福島応用数学研究集会

世話人:

笠井 博則 (福島大・理工)

中川 和重 (福島大・理工)

日時: 2020年3月3日(火)~4日(水)

場所: 福島大学理工学類後援募金記念棟

－ プログラム －

3月3日(火)

14:00 – 開会の挨拶

14:10 – 15:10

マーク ブレズニャク (福島大・IER)・平尾 茂一 (福島大・IER)

Overview of modeling activities for fukushima daiichi nuclear power plant in IER.

15:30 – 16:20

野津 裕史 (金沢大)

不均質多孔質媒体内の流れの Navier-Stokes 型モデル: 安定性と数値シミュレーション

16:40 – 17:30

森田 善久 (龍谷大)

チューリング不安定化と局在パターン –生物モデルを中心に–

3月4日(水)

10:10 – 10:40

霜山 竣 (福島大・理工)・冨樫 聡 (産総研)・柴崎 直明 (福島大・理工)

原位置実験と数値計算によるパラメータ同定 (話題提供)

11:10 – 12:00

秋山 正和 (明治大)

ショウジョウバエ後腸の捻転メカニズム解明に向けた数理的・実験的アプローチ

閉会

本研究集会は、Yahoo!JAPAN 東北支援プロジェクト「Search for 3.11 検索は応援になる」による寄付の援助を受けています。また、福島大学数理・情報学系、同 環境放射能研究所による共同主催です。